

新たな時代への船出



白石市長
川井貞一

新年明けまして

おめでとつございます。

昨年は、イラク戦争をはじめSARSの世界的な感染問題など、現在の社会が一国のみならず地球規模での問題を共有していることを改めて感じさせられました。

日本においては、異常気象による冷害や三陸南地震などによる自然災害の多発、経済面においても明るい兆しが見えるとはいえ、高い失業率を維持しており、まだまだ社会、経済とも不安な情勢の中にあります。本市においては、前助役の高橋新太郎氏が急逝するという悲しみに包まれました。

市政に貢献された大きな功績を謝するとともに、「冥福をお祈り

いたします。

昨年は、白石市のまちづくりの大きな柱のひとつであります「IT先端都市」の実現と行政の効率化を図るため、東北地方で初となる電子投票を実施し、開票時間については前回市議会選挙の半分以下、電子投票においては無効票が一切発生しないなど、利便性の向上、事務の効率化を進めることができました。

また、「環境都市」の実現を目指し、循環型社会を構築するための大きな一歩となる、生ごみ資源化施設「シリウス」が四月から本格的に稼働し、食と農業、環境の大切さを一体的に学ぶ事が出来るようになり、次世代を担う子供達

や親子での体験学習による環境意識の更なる向上が図られるよう努めてまいります。

さらに、市制施行五十周年記念事業として開催されました「宮中雅楽」特別公演は、小中学生の雅楽教室と一般公演、合わせて四千八百人がホワイトキューブに集うという、本市にとって空前の事業となり、「文化のまち白石」を全国に知らしめることができました。

その他、昨年の白石市の各種施策につきましては、次頁の「白石市の十大ニュース」をご参照いただくようお願いいたします。

本年の第一の課題は、市町村合併であります。

昨年十月に各地区で合併に関する意見交換会を開催し、市民皆様のご意見を頂戴いたしました。本年は、昨年12月に設立いたしました蔵王町との任意合併協議会による合併の具体的モデルを作成し、市民の皆様への判断材料としてお示しいたしたいと考えております。

第二は、行政改革であります。国の三位一体改革による補助

金、交付税などの削減が押し進められる中、適正な財政運営による市民サービスを維持するため、第三次となる行政改革を進めてまいります。

今回の行革は、情報化を柱として組織・機構の再編や見直し、あるいは業務・機能の外部委託などによる更なる合理化および効率化を図り、良好な財政による行政運営を行ってまいります。

第三は、災害対策であります。



東北地方で初めて実施された「電子投票」



今後確実に起こるであろうといわれている、宮城県沖を震源とする地震や水害などの災害に対処するため、本年は、土地分類細部調査に基づく土地の自然的社会的条件を踏まえ、各地区の実情に沿った地域防災計画を策定するとともに、防災マップや各地区毎に市民皆様の意見を反映した防災カルテを作成し、災害時における地域の指定避難所などを皆様に周知いたし、安全で安心できる地域づくりを進めてまいります。

第四は、都市基盤の整備であります。

デザロ・ミノス賞受賞は、白石市の未来へ向けての「まちづくり」が評価されたものですが、その大きな要因となった、市内第二循環



「文化のまち白石」を全国に知らしめた「宮中雅楽」特別公演

線を形成する市道沖の沢郡山線の整備や越河地区の農業集落排水事業などを引き続き進めてまいります。

第五に、個性豊かなまちづくり事業として、本市固有の財産を活かしながら市民の皆様へ健康維持、さらには、地域経済の活性化を図るため、宮城県の支援を受けながら、小原温泉および鎌先温泉周辺の自然景観を活かした整備を進めると同時に、公立刈田総合病院と温泉地の連携により、現在の観光地温泉から健康増進や療養、保養などに利用する保養温泉地として、整備を進めてまいります。

白石市は、本年四月に大きな節目となる市制施行五十周年を迎え



7月に上演される市民オペラに向けて開催されたワークショップ

ることとなります。

市民皆様とともに、先人達の英知と努力により築いてきた歴史を振り返ると同時に、新たな時代を創造していくことを誓う場として、記念式典を開催いたします。

また、記念事業として「市民オペラ」の上演、NHK「のど自慢」の開催のほか、「記念年表」の作成、「白石の風景五十選」および「五十年後の市民へのメッセージ」の発表を行います。

今後も、個性豊かで誇りの持てる「ふるさと白石市」のまちづくりに邁進してまいります。所存でありますので、市民皆様のなご一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



市内第二循環線を形成する「市道沖の沢郡山線」(JR高架橋)



白石市議会議長

鈴木康弘

明けまして
おめでとつございます。

新春を迎える市民の皆様への御清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。また、日頃から市議会に温かいご理解と絶大なご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年の統一選挙において、東北では初めてとなった「電子投票」が実施されました。

議会では、異常気象による農作物被害について、県内で最初に被害対策緊急意見書を国に提出し、宮城県知事、農林水産省の市川副大臣にも陳情を行いました。

また、特別委員会においては、新白石大橋ならびに都市計画道路「沖の沢郡山線」の事業推進について要望などを行い、さらに、十一月の市議会臨時議会においては行政改革の一環とした特別職の給料および報酬の減額など、住民理解と市政発展に尽くしてまいりました。

新世紀を迎え三年を経過しましたが、我が国の経済状況は依然と

して出口が見えませんが、これを克服するため政府は、構造改革に取り組んでおりますが、「道路特定財源」の「一般財源化」をはじめ、税財政改革においての地方交付税の見直し、国庫補助金の削減・廃止および地方への税源移譲の「三位一体」についてなど、ようやく着手を始めたばかりです。

このような時代こそ、総力を挙げて、知恵を出し合い対応する必要があると思います。

一方、白石市議会としては地方分権にある説明責任のもと、議員各位の英知をさらに結集し、環境、医療、福祉、産業そして道路などにおいて、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

また、議会の活性化や開かれた議会に向けた議会改革などを図るためには、個々の議員の地道な活動が必要であります。今年には市制施行五十周年の節目の年でありますので、更に精進し、初心に返り邁進してまいりたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、今年一年ご健勝で充実した一年でありますよう心から「祈念申し上げます」とともに、市議会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。